

第16回 ハガキでごめんなさい 全国コンクール入賞作品紹介

ハガキ部門

今回で16回目となった「ハガキでごめんなさい全国コンクール」。今回は全国47都道府県から、メールを含め1927通の心温まる「ごめんなさい」が寄せられました。応募作品の中から、審査で選ばれた各賞の作品を紹介します。



和田幾世さん(京都市)

長男の浩が二歳になった頃、パパが毎朝出勤する時提げてゆく通勤カバンに興味をもち始めました。日曜日の夕方、パパがお風呂へ入っている間に、浩がカバンから会社の書類を全部出して、自分の絵本やぬいぐるみや恐竜を入れると、「いつかきまーしゅ」と、パパの真似をして遊び始めました。その後、カバンへ書類が戻されることなく、月曜日の朝、パパはいつものようにカバンを持って出勤してゆきました。もしかして、気付いていないかも、私。



P.N. たなちやさん(東京都)

かわいい息子へ
パパもママも大好きすぎて、たくさんチューしてしまいます。笑。笑顔も泣いた顔もいたずらな顔も全部、大好きです。でもね、つだけ謝らせてください。あはれのファーストキスは、パパです。ママは口は遠くでいいです。パパから守ってあげられなくごめんなさい。



石井かおりさん(大分県)

ロック歌手のファンクラブで、司会を任された時のことです。台本を何度も読んで練習したのに、「人気の無い」と「人気の無い」と読んでしまいました。(7字)



茂木美咲さん(埼玉県)

お父さんへ
中学生の頃、私を助まそうと何でも相談うけな。お父さんはおまえのこと何でもわかってる。だぞい。笑ってくれたのに、何にもわかってないくせに。怒ってごめんね。
口下手なお父さんが本気で心配してくれていたこと、本日はわかっていました。今でも謝れなくて、ごめんなさい。



松本永遠さん(安芸高校)

私の故郷を、いつも老人しかおらんとか、「回通通」と言われて悪口は、かきまて「ごめんなさい」...
でも、将来必ず社会福祉士になって、地域に貢献するので、待っててください。
高知県一の町にしてみせます。
悪口ばかり言ってるけど、自分の町が大好きです。



増田麗奈さん(高知農業高校)

お母さん
ごめんなさい
兄姉が幼い家で育つ。大抵、未子でたかさんお母さんが聞いてくれたお母さん。反抗期の子供。だからお母さんの一言、ごめんなさい。いらい愛を注ぎくれたお母さん。就職してごめんなさい。その代わりに、たくさん働きます。必ず見返します。
待っていてね



杉山晴琉さん(神奈川県)

ゴメンジャーを
おとうと
とりあつて
ごめんなさい
いつもつけてごめんなさい!
おとうと



西園多佳子さん(栃木県)

これバゲンで
一万円だったのよ
と、どいたいのと劉利値の
金額をさっさと
私のタスには結構高いものもありませう。御免なさい



北岡楽夢さん(岡豊高校)

妹へ
前髪を切りすぎごめん。



南希代華さん(鹿児島県)

お父さんへ
私が4歳の時「はれるよね」と思い、父の弁当のたまご焼きに黄色いねんどをいれました。父が帰ってから弁当の中を見ると、こぼれまわったねんどが残っていませんでした。おちつかないまま、父の父は、高熱をたしました。ごめんなさい!!



和知行男さん(福島県)

残業遅くなってゴメンね。スーパーで出来合い買ったけど、ちよと待ってて。妻はそうさるケーキをテーブルに置いた。何だ、このケーキ? 少しイラついて聞いたら、今日は結婚記念日だよ、3回目の。妻は笑った。わかり忘れていた。一年近く精神的ストレスで休職している僕に、嫌な顔一つせず普通に接してくれている。妻の背中につぶやいた。ごめんな。来年は一緒に旅行でも行こうな。



山重友輝さん(通山小学校)

お母さんとお父さんへ
朝、お母さんとけんかしたとき、お母さんのスマホをゴメンふくらにかくして学校に行き帰ってきたら、ゴメンふくらで学校にお父さん休日サイクル工場までどりに行くことになった。ごめんなさい。
お父さん、お母さん、本日に...



津田まどかさん(香川県)

夫へ
私が描くあなたの似顔絵...
本物よりハゲてごめん
なごい。

本当はもう少し
おみのもあるよね。



杉浦ゆきえさん(和歌山県)

ごめんね。はずかしかったね。学校の書道で、ハッと聞いた新聞。穴だらけで。



銀世さん(兵庫県)

がまんできず
パパのおつまみ
食べちゃって
ゴメンナサイ...